スマイルオブキッズ 通信

Vol.24
2020年7月発行

「人事でない」と思える世界

認定NPO法人スマイルオブキッズ　理事長　松尾忠雄

今回の新型コロナウイルスに対する患者・家族滞在施設「リラのいえ」の感染防御対策は、難しい選択を迫られましたが、多くの学びもありました。

お子さんとご家族は難しい病気と闘い、さらにウイルス感染の恐怖におびえながらも自宅から離れて神奈川県立こども医療センターで入院治療しています。

不安やストレスが高まっている家族の方々に、病院の近くにある「リラのいえ」で、安心・安全な環境で疲れを癒していただきたい。今こそこの施設の存在意義が重要であると考えれば閉鎖をする事はできません。しかし、ご家族やボランティアスタッフの安全を考えると、一時的な閉鎖も仕方ないことかと迷いました。検討を重ねた結果、スタッフの人数と活動時間を最小限度に抑えて継続することとしました。

大きな事故、災害などが起きても当事者でなければ人事として片付けてしまいがちです。しかし、新型コロナウイルスの世界的流行は、「人事でない」こととして人々に感染への恐怖心、医療従事者の皆さまへの感謝、当たり前と思っていた日常生活が絶たれた戸惑い等、さまざまな思いを起こさせました。

病気と闘うお子さんとご家族のことが、「人事でない」と思える世界であってほしいと思います。

リラのいえの四季　～2019冬・2020春～

荏原花園様より、本年も花苗を寄付いただきました

リラのいえに冬の訪れを告げる皇帝ダリア

春なのに！花壇に雪が積もりました

横浜南ロータリークラブ様寄贈の芝桜。春のお花見の宴は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。
来年は皆さんと芝桜を愛でられますように。

新役員紹介

新しい生活様式に向けて

認定ＮＰＯ法人
スマイルオブキッズ　理事
康井制洋

前地方独立行政法人神奈川県立病院機構・理事長
元神奈川県立こども医療センター・総長

こども医療センター在職中にはＮＰＯ法人スマイルオブキッズの皆様にたくさんの支援をいただきました。とりわけ、はるか遠方から不安を抱えてこられた患者さんとその家族にとって、あかるい笑顔と心温まる励ましの言葉で病気と闘う勇気を授けてくれる第二の我が家「リラのいえ」はかけがえのない場所です。いつの日か恩返しができないかと思っていたところ、神奈川県立病院機構退職を機にお誘いを受け令和元年六月に理事のひとりに加えて頂きました。

スマイルオブキッズのみなさまとの交流にはたくさんの思い出があります。毎月開催される病院の定例運営会議での近況報告や楽しいイベントのお知らせ、関孝弘氏のピアノ演奏が美しく響くチャリティーコンサート、リラのいえ玄関前広場でのにぎやかなバーベキュー大会やバザー等々、数多くの場面が記憶に蘇ります。なかでも印象深い事柄には２００８年５月25日、雨の日曜日に開催された「リラのいえ」開設記念式典があります。紅白のテープカットを会場の末席から眺めた、待ちに待ったあらたな時代が幕を開けた瞬間。病院という究極の閉鎖空間が病院スタッフや患者や家族に加えて、善意ある皆様とともに困難と向かい合う開けた場所になった瞬間は今でも言葉に尽くせぬ感慨とともに鮮明な記憶として蘇ります。

新型コロナウイルス感染の蔓延にともない「新たな生活様式」が求められています。人は人によって支えられ、勇気をもらい、歓びを分かち合うことで生きる力を授かります。物理的なソーシャル・ディスタンスを保ちながらも、多くの方々と心を寄せあって病魔に負けない新たな日常を築きたいと思います。小さな善意の輪が大きく広がり、ひとりひとりの思いがきっと新たな毎日を生み出す原動力となることを信じて、未来へと進むことに務めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして

認定 NPO 法人
スマイルオブキッズ　監事
薄井智洋

認定 NPO 法人市民セクターよこはま・主任
横浜市市民協働推進センター・副センター長

２０１９年に監事に就任いたしました薄井智洋です。今回貴重な機会をいただき、僭越ながら自己紹介させていただきます。

私は大学時代、研究室にこもって新薬の研究をしていました。あるとき患者さんに会いに行く機会があり、現場に近ければ近いほどやりがいを感じたことが、大きなターニングポイントとなります。

自分は現場で社会課題と徹底的に向き合いたい、力を合わせて課題を解決したいのだと気がつき、大学院進学目前に進路変更。公共ビジネスを学ぶ専門学校に入学、その後自分でＮＰＯを立ち上げ、個人や団体、プラットフォームを支援する中間支援の大切さを痛感。２０１１年５月に現職の認定ＮＰＯ法人市民セクターよこはまに入職しました。

「現場第一主義」という軸は、入職して９年経っても変わっておりません。

結婚して娘が誕生し、自分の命よりも大切な存在となりました。

風邪も引かず、パワフルだった娘が１歳半になったとき、急性肺炎となりました。入院が決まり、症状も重いと聞かされた時は周りの景色が灰色になったのを今でも覚えています。

その時、娘との楽しい日々は当たり前ではないと実感したのです。

スマイルオブキッズの監事に就任させていただいたきっかけは、尊敬する大先輩からご紹介いただいたのと、娘の存在が大きかったです。子どもたちと、その家族が少しでも安らげるようにと、スタッフの皆様、ボランティアの皆様の優しいまなざしが、リラのいえのあたたかい空間をつくっているのだと感じ、少しでもお役に立てればと心が動かされました。

いま世界がコロナウイルスという濁流のなかにあります。

私たちが踏ん張ることが、愛する子どもたちの幸せにつながると信じて、共に手を取り合えればと思います。

利用者の声

不安な生活の中の安らぎ

安達　由梨

2018年３月初旬、１歳になって間もない娘は小児がんと診断されて、神奈川県立こども医療センターへ入院しました。

夫の転勤による県外への引っ越しを控えつつ、二人目の子供をお腹に授かったばかりの頃でした。県外から娘の付き添いに通うか、それとも、医療センター近くにアパートを借りて、娘の付き添いに通うか…決めるまでに残された時間はわずかでした。

「リラのいえ」の存在を知り、滞在させて頂ける事となりました。看病後に帰ると、スタッフさん達が笑顔で迎えてくれ、空腹時には差し入れに心身共に助けられました。月に数回あるイベントにも病院との往復だけの生活に癒しを貰い、夜にも泊りでいて下さり、安心して休む事が出来ました。また、入院中の娘が一時外泊も出来た為、週末外泊の時には家族のかけがえのない時間を過ごさせて頂きました。

入院中の子供の付き添いは緊張の連続ですし、病室には柵の付いた子供用のベッドがあるだけ。親が身体を休める所はないです。でも、ここに帰れば、心も体も休む事が出来ました。

３歳になった娘は、再発もなく、１歳の妹と仲良く元気に遊んでいます。私は、現在も滞在時に知り合った大切な仲間とも励まし合っています。「リラのいえ」が存在してくれ、滞在する事が出来、沢山の方々の応援により、今の私達家族が元気に暮らせている事に心より感謝しています。

リラのいえクリスマス会

訪問コンサート

活動・イベント報告

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました

●リラのいえクリスマス会

12/15 大きなツリーに利用者のお子さん手作りの折り紙の飾りもつけて、お料理はボランティアさん特製の唐揚げ、いなり寿司、ロールサンド･･･。シュトーレンにケーキも楽しみながら、コーラスグループのご協力により、利用者・支援者の皆さん、スタッフでクリスマスソングなどを歌いました。長期滞在されていたおばあちゃまがちょうど帰国の日と重なり、皆でお見送りしました。

●訪問コンサート

11/15 訪問の家「朋」、12/21 こども医療センター重心施設に伺い、関理事によるピアノコンサートを行いました。

桐蔭横浜大学サービスラーニング実習生より

リラのいえでは年に２回、桐蔭横浜大学よりサービスラーニング実習生を受け入れています。昨年度の実習生から、実習終了後にいただいたお手紙をご紹介致します。

短い期間ではありましたが、実習をリラのいえで行ったことで「人の支え」はとても影響力のあるもので、大きな力になることを学びました。

リラのいえでは利用者の立場に立って運営することを重要な理念として、利用料を少なくしている上に安全面を配慮したり、コミュニケーションをとることで支えていました。その中でも相手を思いやる声かけが一番印象に残りました。相手が辛い状況の時、思いやりを持って接することが人の力になるのだと感じました。

リラのいえで学んだことを自分の中にいつまでもとどめておけば、自然とそれは「人の支え」になるのだと思います。リラのいえで行ったことは一生の財産になったと自信を持って言える経験になりました。

スポーツ健康政策学部スポーツ健康政策学科
長瀬　千洋

このたびは、大変貴重な経験をさせて頂きましてありがとうございました。

リラのいえの皆様に貴重なお時間を割いてお話をして頂き本当に充実した実習でした。

ふれあいコンサートでは、席の配置や準備が大変でしたが、その分たくさんの人が楽しんでいる姿を見て、とても嬉しい気持ちになり、一生懸命準備をしてよかったと思いました。また、皆様とお昼休みをご一緒する機会を頂き、いろんな話やアドバイスの数々を頂いたことは私にとってかけがえのない経験になりました。ありがとうございました。

スポーツ健康政策学部スポーツ健康政策学科　２年
田髙　颯

保育それぞれの振り返り

リラのいえきょうだい児保育は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、４月５日から５月31日まで、休園しました。その間保育士たちは、印象に残った保育や、リラの保育について「それぞれの振り返り」を行い、保育士同士で共有しました。今回はその中の一部を掲載いたします。

４才の男の子を何回か保育しました。プラレールや木の線路が好きで、線路を組み立てる時は、手伝っていましたが、１対１の日に好きにやらせていたら凄い線路を作っていて、驚きました。大人では絶対に作らないけど、この子は大満足でした。最近はアクティブラーニングを推進していますが、自分で考える、やり切る経験ができたかなと思いました。

（手塚豊子）

まだミルクを上手に飲めない頃の２か月の男の子を抱っこしているとすやすやと眠ってくれました。可愛い寝顔を見て、温もりを感じながら、ふと、我々保育士は「命を預かる仕事」なのだと職務の重大さを実感しました。お腹が空いてくることが予想できましたので、何とか泣かせずに、心地よく過ごして貰うことを目標にしました。

（藤井由美子）

ちいさな胸に消化しきれない何かは、どの子も抱えています。その心細さがじんと響いてくる瞬間が少なからずあります。時々ジャブが直撃しても、一緒に笑い転げながら気持ちは受け止めたいと思います。リラのいえでの時間は、子ども達が、自分に目と気持ちを向けてくれたという印象をもって、ここはモヤモヤを出せたり、受け止めてもらえる場所なんだと感じてもらえたらいいと思っています。

（玉﨑麻利江）

３年位前に避難訓練の係になり、全く何もわからない事からスタートしました。心の底に、「いざという時には、どうするんだろう？」という不安はあったものの、施設全体では「ここは大丈夫！」みたいな雰囲気があり、どうやって進めていったら良いのかわかりませんでした。初めは、月１回はやった記録を残すための訓練でした。でも回を重ね、事務局の宇田さんが相談に乗ってくださり、ボランティアスタッフに協力頂いて、やってきたことの積み重ねと、これからもやっていく意味を感じています。少しずつでも、良い方向へ向かっている感覚が掴めました。

（大石貴子）

Yahoo! ニュースに「きょうだい児支援」についての記事を掲載いただきました。リラのいえきょうだい児保育の報告、各地のきょうだい支援活動、きょうだいさんの気持ち・・・たくさんの方にご協力いただき、事務局の谷畑が執筆しました。QR コードから、是非ご覧ください。

2019 年度活動計算書

科目		合計（円）
Ⅰ．経常収益		
1．受取会費	627,000	
2．受取寄附金	10,105,883	
3．受取助成金等	6,050,000	
4．事業収益	6,509,334	
5．その他収益	126,791	
	経常収益計	**23,419,008**
Ⅱ．経常費用		
1．事業費	18,609,840	
2．管理費	5,001,913	
	経常費用計	**23,611,753**

Ⅲ．経常外収益		0
Ⅳ．経常外費用		0
税引前当期正味財産増減額		△ 192,745
法人税、住民税及び事業税		75,659
当期正味財産増減額		△ 268,404
前期繰越正味財産額		429,042,119
次期繰越正味財産額		428,773,715

2019 年度事業報告書

①闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営事業

ア　患者家族滞在施設「リラのいえ」運営事業

内容：　闘病児及び家族の支援施設の整備及び運営
運営期間：　通年
従事者：　約 70 名
対象者：　病児とその家族
場所：　横浜市南区「リラのいえ」
利用者：　3,971 名
平均稼働率：　66.9%

②家族の交流の場の提供事業

ア　コンサートホールで生の音楽を聴くことのできない子どものための音楽会の開催
（公益財団法人神奈川心身障害児福祉基金財団夏季レクリエーション活動費助成事業）

内容：　障害のある子どもと家族を招待した音楽会
開催日：　8 月 10 日～ 11 日（3 公演）
従事者；　39 名
対象者：　障害のある子どもとその家族
場所：　横浜ラポールシアター
参加者：　重症心身障がい児 112 名、家族 215 名、一般 8 名、ボランティア 39 名、計 374 名

イ　バザー開催

内容：　バザー開催による地域との交流・広報活動
日時：　10 月 20 日
従事者：　約 30 名
対象者：　近隣地域の方・支援者・一般市民
場所：　横浜市南区「リラのいえ」
利用参加者：　約 200 名

③保育事業

ア　きょうだい児保育事業（横浜市の認可外保育施設として認証）
（公益財団法人小林製薬青い鳥財団助成事業）

内容：　医療センターへ入通院する病児のきょうだい児の預かり保育・きょうだい児支援研修会の開催
運営期間：　通年
従事者：　10 名
対象者：　病児のきょうだいとその家族
場所：　横浜市南区「リラのいえ」
年間利用者：　518 名

④難病の子ども達の課題を解決していくための支援事業

ア　重症心身障がい児と家族への音楽支援

内容：　重症心身障がい児及び家族が楽しめる機会を提供するためのコンサートの出張事業
日時：　11 月 15 日・12 月 21 日
従事者：　4 名
対象者：　重症心身障がい児とその家族
場所：　訪問の家「朋」・神奈川県立こども医療センター重心施設
参加者：　約 120 名

イ　チャリティーコンサートの開催

内容：　小児医療を取り巻く環境で必要な支援をアピールするためのコンサート
日時：　7 月 6 日
従事者：　29 名
対象者：　一般市民
場所：　はまぎんホールヴィアマーレ
参加者：　302 名

⑤その他

ア　組織基盤強化事業（PanasonicNPO サポートファンド　助成事業）

内容：　新法人設立・業務分割に伴う組織マネジメントの課題整理と次世代に繋げて行くための組織基盤強化
従事者：　約 80 名

ご寄付一覧

ご寄付一覧（敬称略）
（2019年11月～2020年5月）
ご支援、ありがとうございました

【寄付・賛助によるご支援者】

11月：㈱アジアンライズジャパン／エガワヒトミ／阿部啓子／安嶋裕美／宇田永治／横山悟一／貫井敏子／舘野富美子／岩口泰広／玉﨑麻利江／駒形真貴子／高橋房子／高尾節子／佐藤綾子／秋元稔子／小林整治／新井宏朋・和子／清水淳子／大神正史／中村忠雄／鶴田直子／田川いつ子／匿名／福田孝将／柳原隆夫／有賀実男

12月：㈱アジアンライズジャパン／㈱トミ・管理サービス／㈱浦山工務店／KAインターナショナル／さいとう小児科齋藤綾子／安達かほる／安嶋裕美／安藤弘子／安保さよ子／伊藤久史／伊藤紘一／依田今日子／井上純子／磯ケ谷政久／茨木良枝／宇佐美博幸／宇田永治／碓井裕子／遠藤信行／遠藤明／塩森芳枝／奥津清／横山新一郎／横山朋美／岡田啓子／岡田章／乙骨／下出和治／加用真実／花村伊都子／花田大・いち子・晴斗／関英一郎／丸茂弘子／岩崎幸代／岩崎眞一郎／儀間小夜子／吉森英孝／吉田賢一・聡／吉田敏子／橘孝夫／桐生秀昭／芹澤悦子／駒形真貴子／熊切正志／原公泰／原豊文／古平秀子／戸塚武和／後藤彰子／江波戸洋子／高橋光雄／高橋宏之／高尾節子／黒澤健司／今村恭子／根本孝江／佐々木利明／佐藤／乙骨／佐藤敦子／佐伯トシコ／三好正子／三杉信子／三石佳子／山下薫／山腰由紀夫／山崎里絵／山室陽子／山森伸子／山田しのぶ／山田美智子／市川利子／市民活動プラザ六中ソフト事業推進室／氏家ゆり子／室井佳子／篠原誠二／篠原朱美／柴田和代／手塚照子／宗像正子／小金丸輝久／小山田豊／小瀬村芳明／小牧誉弘／小林整治／小髙愛二郎／松永孝之／松永朱美／松尾宏之／松尾智子／松本剛／松本真理子／沼沢静江／上田美代子／植田容賦子／新楽和則／

森みどり／森郁子／森下ヨシ子／森晃一／森清治・直弥／森田知子／深澤時江／神原雅美／神納智津子／仁田昌寿／水戸陽子／水谷勲・公子／水島朝子／杉山真紀／菅原かつ／菅谷仁見／菅野円満／成田則子／星野利勝／清水真理／清水鞆子／西岡智子／西田大介／西林洋子／青柳充彦／斉藤昇／石丸晶子／石橋一子／石原真弓／石川基子／赤木和子／千久田恵／千葉八郎／川村征雄／川島勝美／川﨑圭子／泉水恭子／浅川冨美子／前田昭子／前田敦／曽我紘一／倉科紀美子／倉林恒人／倉林夕美／村井淳／太田真知代／大崎富子／大津雅弘／大木宏之／滝澤始／竹村律夫／竹沢佐知子／竹田弘／中村昌子／中平順子／中野学／中澤寛／長沢保／長嶋みや子／鳥澤竹彦／天海百合子／田川正志／田島香代子／渡邉美紀／土屋雅哉／島倉志穂／島田啓子／湯川仁／藤田裕美子／匿名／南林間アルファ歯科／楠本郁子／白井シズ枝／白井久江／白谷弥生子／八谷時子／武舎澄江／平野まり子／堀川浩邦・恵子／木下和子／木原芳嗣／木戸よし江／木全重樹／木村知世／木村裕毅／門田由美／有田佐智／㈲仁天堂薬局／鈴木ひとみ／鈴木将彦・瑞穂／鈴木昭／鈴木太郎／脇有範／國武洋子／澤岡悠紀子／眞岸冨子／齋藤理世／齊藤雅美／加藤友紀／林厚志／田中聡子／笹野淳／神原雅美／長嶋健志／齊藤進治／鈴木有子／高木翔子

1月：㈱アジアンライズジャパン／河野真紀／スマイルこどもクリニック東戸塚院／ヨコタリュウイチロウ／安嶋裕美／羽鳥眞一郎・裕子／岡田浩一／乙骨／乙骨／下出和治／萱畑佳代子／吉田あけみ／橋本／芹沢玲子／駒形真貴子／後藤浩之／荒木由美子／高尾節子／黒澤宗剛／佐伯トシコ／三浦則子／三浦美奈子／山本悦子／糸永美百合／児玉洋子／小林整治／小林猛・千賀子／上久保ふじえ／森山桃子／瀬尾公子／石森眞基子／曽根晶子／竹内いずみ／渡辺薫／渡辺比砂子／匿名／梅崎亜衣子／武川幸子／米田淑子／北見孝雄／本多八重子／茂木なか子／毛利環／髙橋和子／髙石直美／玉﨑麻利江

2月：㈱アジアンライズジャパン／安嶋裕美／下出和治／下澤マヤ／角田宏子／吉田夏帆梨／近藤純子／駒形真貴子／高尾節子／志澤直樹／小瀬村芳明／小林整治／松島太郎／松尾満知子／上田あかね／新田隆／扇谷あづさ／相川延子／袖山恵子／瀧口秀之／長谷川元保／藤田真佐江／藤田敏郎／匿名／麦の芽福祉会共同保育所ひまわり園園長愛甲明美／北見雅則／鈴木喜子／太田優子

3月：㈱アジアンライズジャパン／ＫＡインターナショナル／ホンダカーズ神奈川中㈱／安嶋裕美／宇田永治／横浜友の会中方面／吉田孝子／橋本雅博／高尾節子／佐伯トシコ／山下正倫／小林整治／松尾忠雄／森みゆき／早川禎子／谷畑育子／田川尚登／田辺絹枝／匿名／樅田文子

4月：㈱アジアンライズジャパン／駒形真貴子／粂みち代／高尾節子／小林整治／大嶋博之／中村泰子／渡辺陽子／匿名／鍋島絢子／堀川浩邦・恵子／㈲仁天堂薬局

5月：㈱アジアンライズジャパン／安嶋裕美／安嶋裕美／岡田千衣子／高尾節子／佐伯トシコ／志澤直樹／糸永美百合／小林整治／菅原恵子／湯川保子／武舎澄江／矢崎守孝／鈴木啓史／石崎舞子／駒形真貴子／小瀬村芳明／安藤則雄／匿名／大関秀紀／田中義俊

＊「マンスリーサポーター愛する子ども達おうえん団」に沢山のご協力ありがとうございました。お名前は初回月のみ掲載させていただきました。

○よこはま夢ファンド

（横浜市が掲載を確認された方。2019年10月まで）

岩田慶隆／林厚志

○かながわ県立病院小児医療基金

○かながわボランタリー活動推進基金21

○ＰａｎａｓｏｎｉｃＮＰＯサポートファンド

【物品寄付によるご支援者】

11月：賀川邦昌／熊谷美智代／小杉麻希／紙透智子／添田英子・博史・直希／星野洋子／田中美樹子／匿名／藤田秀明／大塚長子／清水典子／佐々木祐子／㈱川口／花屋倫代／荏原花園／㈱ミツバ／貫井敏子／尾形奈々／高尚子／戸田孝子／藤井文栄／鈴木郁男・市子／長谷川恵子

12月：香島寛孝／星野洋子／西澤はるか／三ヶ尻美穂／脇信恵／神奈川福祉事業協会／藤田道子／松川守・真美／ＮＰＯ法人チャリティーサンタ／株式会社柴橋商会／土屋／星野富弘花の詩画展を開く会／㈱栄光メディアミックス／港南たすけあい心／曽我部達郎／小林製薬㈱山根聡／沼沢静江／戸田孝子／久保順・琴枝／白谷弥生子／市民活動プラザ六中ソフト事業推進室／尾形奈々／長谷川愛・小百合／茨木良枝／草場春美／ホンダカーズ神奈川中㈱／工藤友子／みんなのレモネードの会／角田舞／ＪＲ労組横浜中央支部／藤井文栄／中原祥子／中津川綾子

1月：匿名／沼沢静枝／戸田孝子／平木娃衣／米山潔／三浦美奈子／匿名／尾形明彦／髙橋和子／芹澤功子／小西陽子／藤井文栄／匿名／林厚志／百岳有輝子／東宮五月

2月：ジョンソン㈱／山本文子／吉田夏帆梨／㈱ミツバ／花王株式会社社会貢献部／有富梨恵／㈱横濱屋

3月：松前克俊／脇信恵／戸田孝子／西村祥子／小原淳／白谷弥生子／髙橋和子／重森大成／髙橋雅子事務所／ジョンソン㈱／黒澤宗剛

4月：匿名／匿名／福井和樹・智美／松島純子／井上秀枝／舘野富美子／山田みちよ／匿名／湯川仁

5月：匿名／武藤由美子／武藤由美子／沼沢静枝／秋元稔子／匿名／一ツ谷俊子／秋元稔子／井上秀枝／芹澤功子／戸田孝子／露木未来／ホンダカーズ神奈川中㈱／畝岡優／笠間小学校／六つ川小学校

【小児ホスピス建設への寄付者】

12月：オオトシカズヨ　1月：藤谷操／川田公一　2月：保持のり子

その他のご支援（２０１９年11月～２０２０年5月）

◇（株）東横商事様：月に2回、食品・消耗品の提供と施設内外の清掃をしていただいています。（レトルト食品２７０食・飲料水１４４０本・パックごはん２４０食・カップ麺２６４食・カップスープ72食・菓子パン18個・栄養補助食品２１６個・マスク１０２枚）

◇セカンドハーベスト・ジャパン様：沢山の食材をいただきました。

◇フードバンクかながわ様：沢山の食材をいただきました。

◇リラのいえボランティア・保育士より、日用消耗品・食材・お花などを提供いただいています。

◇久光製薬（株）ほっとハート倶楽部様：社員の皆様からの募金の贈呈先に選んでいただきました。

◇荏原花園様（港北区高田町）：パンジー・ビオラなどの花苗をご寄付いただきました。

◇イオンリテール（株）様：毎月11日の幸せの黄色いレシートキャンペーンにて、お買い上げ金額の１％をご寄付いただきました。

◇毎日新聞東京社会事業団様：「小児がん征圧募金」の一部を活動助成金としていただきました。

◇ホンダカーズ神奈川中（株）様：12月17日、社員の皆様に清掃活動がありました

＊ご寄付をお振込いただいた支援者様には礼状と領収証をお送りしておりますが、ご不要の場合は、振込用紙に「領収証不要」とご記入下さい。会報のご寄付一覧にはお名前を掲載させて頂きます。又、会報等にお名前の掲載を希望されない方は匿名希望とご記入下さい。（匿名として掲載）

貴重な紙類の消耗品、消毒液、手作りマスク（大人用・子ども用）等、感染症対策の必需品をたくさんの方からご寄付いただきました。利用者ご家族が安心して面会に行くことができます。

■リラのいえ・利用状況（2019 年 11 月～ 2020 年 5 月）

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
家族数	39	36	33	27	31	10	11
宿泊者（利用者数）	420	296	193	254	193	120	146
稼働率	77.7%	57.4%	38.4%	58.3%	42.6%	34.7%	33.5%

■きょうだい児預かり保育・利用状況（2019 年 11 月～ 2020 年 5 月）

月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
利用人数	44	54	49	39	88	7	―
時間	164	161	144	96	175	15	―

＊ 2020 年 4 月 5 日より 5 月 31 日まで休園

各種会議日程報告

スマイルオブキッズ理事会 (11/28・1/23・3/24・5/20) ／**スマイルオブキッズ運営会議** (11/17・12/15・1/19・2/16) ／**リラの会** (ボランティア話し合い)(12/11・2/7) ／**組織基盤強化ワークショップ** (11/5・11/9・3/7) ／**保育話し合い** (11/9・12/18・1/13・2/13・3/14・4/16・5/25) ／**こども医療センター・滞在施設運営会議** (11/19・12/17・1/21・2/21・3/17) ／**きょうだい児支援連絡会** (12/17・3/17)

*3 月以降開催の会議は、３密を避けるため、オンライン会議システム等を活用しました。

活動予定 (2020 年 6 月～ 2020 年 10 月)

●本年度のチャリティーコンサート・ふれあいコンサートは、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して中止と致しました。

●リラのいえバザーは 10 月 18 日 (日) で予定しています。今後の情勢により､開催を見合わせることがあります。開催の可否はお電話にてご確認ください。ホームページ・Facebook でもお知らせ致します。

●バザー用品のご提供をお願い致します。
消耗品・バスタオル他雑貨・衣類 (すべて新品・未使用)・食品 (期限内)・手作り品

見学者の皆さま (2019 年 11 月～ 2020 年 5 月　見学日順、敬称略)

こども医療センター緩和ケア普及室・特定非営利活動法人らいふくらうど・放課後デイサービスゆう・(株) ヤマダ電機・手しごとサポート・(株) エムスリー・オレンジクラブきょうだい預りグループ・県立病院機構・こども医療センター総務課

＊見学は随時受け付けております。事前連絡いただけますと幸いです。

支援サポートのお願い　（賛助金・寄付金には税額控除が受けられます）

【リラのいえ運営・保育・音楽支援事業のための募金口座】

ゆうちょ銀行振替払込口座番号：00250-0-113817
加入者名：NPO 法人　スマイルオブキッズ

◇正会員 (年会費 1 口 1,000 円× 3 口以上)：
法人の目的に賛同する会員。法人の社員となり総会の議決権があります。

◇賛助会員 (年会費 1 口 5,000 円)：事業を賛助する会員。サポート会員とも言います。

◇寄付：いつでも、おいくらからでも受け付けております。

遺贈についてのご相談も継続して承っております。

【クレジットカード決済によるご寄付の受付も始めました】

クレジットカードを利用してご寄付いただけます。下のＱＲコードにアクセスしてください。

◇愛する子ども達おうえん団：毎月 500 円から継続的にできるご寄付です。寄付頻度「毎月」を選択してお申込みください。初回の入金確認後、「団員証」を郵送致します。

◇「今回のみ」のご寄付も受け付けています。

【物品寄付のサポート】

◇施設で使用する物品の提供 (生活消耗品、期限内の食品、未使用の切手など)
◇バザー用品の提供 (消耗品・バスタオル他雑貨・衣類　＊すべて新品・未使用)

【労力・時間を提供するサポート】

◇施設内外の管理・環境整備（草取り・お花の手入れ等）
◇専門技術の提供 (ヘアカット・料理・バザーの手作り品)

寄付のクレジットカード決済はこちらより行えます。

会報発行者：認定特定非営利活動法人　スマイルオブキッズ
〒 232-0066　神奈川県横浜市南区六ッ川 4 丁目 1124-2　電話・FAX：045-824-6014
http://www.smileofkids.jp/　e-mail：toiawase@smileofkids.jp ／編集担当：（株）ユック舎
@ smileofkids